



フォルカー・シュタンツェル 駐日ドイツ大使講演会 〈特別企画〉

テーマ：私たちは150年の日独関係から何を学べるか



Dr. Volker Stanzel

Botschafter der Bundesrepublik Deutschland in Japan

1948年 クロンベルク生まれ。1968年からフランクフルト大学にて日本学、中国学、政治学を専攻し、1972年から京都大学に留学。1979年に外務省入省、1980年にケルン大学にて哲学博士号取得。その後、イタリア大使館、南イエメン大使館、社会民主党 (SPD) ドイツ連邦議会会派外交担当、外務省原子力平和利用・不拡散政策担当課長、外務省政務局長 (アジア・アフリカ・中南米担当)、中国大使等を経て2009年12月から現職。

- 日 時 2012年7月10日 (火)
13:20~14:50 (13:00開場)
- 会 場 中央大学多摩キャンパス 8号館 8304号室
- 対 象 本学学生・教職員・一般 (無料・事前申込は不要)
- 言 語 日本語

特別講演会「ドイツの経済と企業」

現在の日独経済関係における論点

ドイツNRW州

—日本企業の欧州ビジネス・ハブ—

ドイツ企業の魅力

—バイエル社の場合—



ベアーテ・メーダー=メトカルフ

在日ドイツ大使館公使



ゲオルグ・K・ロエル

ドイツ ノルトライン・ヴェストファーレン (NRW) 州
日本事務所長



ハンスディーター・ハウスナー

バイエル ホールディング株式会社
代表取締役社長

- 日 時 2012年6月20日 (水)
11:00~12:30 (10:30開場)
- 会 場 中央大学多摩キャンパス 8号館 8304号室
※ 本会場が満員の場合8303号室で同時中継
- 対 象 本学学生・教職員・一般 (無料・事前申込は不要)
- 言 語 ドイツ語 (同時通訳あり)